

令和3年度 さいたま市立馬宮中学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立 馬宮中 学校  
学校運営協議会  
会長氏名 木下 國臣

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- 設定した目標に対して満足できる範囲に上げたと判断します。但し生徒指導・教育相談のアンケートはダウンしているところは、早急な対応を心がけていただきたい。
- 長引くコロナ禍で、先生方は大変なご苦労をされて、生徒の学びや活動を保証してくださっていると思います。特に2学期は様々な工夫をして、行事を実施することができて本当に良かったと思いました。
- 今年度もコロナ対策でマスク着用での学校生活が続く中、上手にコミュニケーションを取り子どもたちと向き合ってくださりありがとうございました。今後も子どもたちが前向きに学校生活を過ごせるようよろしくお願いします。
- 学習についてです。学年閉鎖になってしまった時のリモート対応を見ていると、手厳しいですが、リモート以前の問題かと思います。先生が急に授業をできなくなったとき、自主学習や家庭学習をどのように取り組ませるか、日頃より方針を示していかなければならぬと思います。
- 2年間続く、コロナの為に学校生活が不安定な環境となっています。タブレットの使用によるオンライン授業も対応できている子とそうでない子の学力格差が気になります。また、ストレスからのイジメ等、子ども同士でトラブルにも注意が必要だと思います。
- 今年度も学校に出かける行事がほとんどなかったので、残念でしたが、少し見かける限りでは、生徒たちはとてものびのびと生活しているように感じます。（学校の方針や先生の心が届いていると思う）
- 学校教育の場でも働き方改革が言われていて先生方の負担も大きいと思いますが、「めざす教師像」にあるように情熱だけは失わないようにと思います。頑張ってください。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 学校評価の分析をきちんと行い、職員全員が共通理解したうえで今後の指導改善に反映させる。
- 来年度も新型コロナウイルスの感染防止対策を万全にしたうえで、保護者が生徒と教職員の日常の姿、行事等に真剣に取り組む姿を多く見られる機会を増やしていくように検討していく。
- 学習についても、タブレットを使用したオンライン授業を今年度も実施したが、昨年度の故障していたタブレットが多く、なかなか1人1台の環境を整えることができない状況であった。学校として取り組める範囲で、タブレットが使用できる環境を整えて今後も取り組んでいく。
- 学校教育の場の「働き方改革」と合わせながら、生徒がのびのびと生活できるように取り組んでいくよう努力する。

校長氏名 山田 尚弘

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。